



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2017年 1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp



公益財団法人 日本太鼓財団
会 長 松本 英昭

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、新しき良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、ブラジルにおけるオリンピックでの日本人選手の活躍やノーベル生理学・医学賞を日本の大隅良典氏が受賞するなど明るい出来事があった一方、熊本地震や東京オリンピック関連の問題に揺れた年でもありました。

そのような社会状況の中、日本太鼓財団として会員の皆様のご協力を得て、所定の事業を計画通り実施することができました。

3月に、大分県大分市において九州では初の開催となる第18回日本太鼓ジュニアコンクールを実施、石川県の「手取亢龍若鮎組」が最多と並ぶ3回目の優勝に輝きました。本大会では、ブラジルチームが第3位、台湾チームが特別賞を受賞と海外太鼓チームの活躍が目立ちました。また昨年に続き、アルゼンチンチームも出場し、日本太鼓のグローバル化が加速していることを実感いたしました。

5月には、国内での高齢者・障害者・闘病患者支援、途上国での職業訓練などを実施されているNPO法人全国福祉理美容師養成協会の共催を得てチャリティコンサートを東京都港区において内外のオペニオンリーダーを集め開催、来場者から頂戴した募金を全額同協会にお渡ししました。7月には、千葉県四街道市において第20回日本太鼓全国フェスティバルを開催、全国から参加した優秀チームの個性的かつ高い演奏技術に詰めかけた観客から大きな拍手が寄せられました。9月には、財団として初めてとなる第1回大学太鼓フェスティバルを東京都港区において開催し、大学生ならではの澁刺とした若さあふれる演奏を披露していただきました。10月には、岐阜県大垣市で第18回日本太鼓全国障害者大会を開催、出演者の皆様には日頃の練習の成果を発揮していただきました。11月に愛知県名古屋市で行わ

れた第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」においては主催者として全面的に携わり公募団体含む31団体が参加されました。13回目となるシニアコンクールは12月に石川県七尾市で開催、永年培ってきたシニアならではの円熟味のある演奏を披露され、佐賀県から出場された野方嘉孝氏（大和太鼓保存会）が念願の名人位に輝きました。

財団事業のもう一方の柱である演奏技術の向上と後継者の育成を図るための講習会も全国講習会を3回、支部講習会を4回開催いたしました。学校教職員を対象にした教職員研修会は、支部主催により全国で6回開催されました。

国際交流事業としては、前述のジュニアコンクールにブラジル、台湾、アルゼンチンチームを招請したほか、台湾での講習会に指導者・職員を派遣し協力いたしました。特に台湾とは、日本と距離的に近いことから交流が一層進み、2月に長崎で開催した当財団の全国講習会には、台湾とシンガポールから40名近い受講者が参加しました。

本年3月に兵庫県で開催するジュニアコンクールには、昨年に引き続きブラジル、台湾、アルゼンチンチームが参加する予定になっております。

このように日本太鼓が国内外において益々普及する中、新しく迎えた2017年は、財団の創立20周年となる節目の年として、創立記念事業を開催する予定となっております。また、恒例となる全国フェスティバルを始めとする演奏会事業や全国講習会等の技術普及事業も、各支部のご協力を得ながら内容を充実させて進めてまいりたいと思っております。

日本の太鼓界を取り巻く昨今の社会環境は、練習場所の音響対策、地方自治体からの助成金の減少等厳しいものがあります。日本太鼓財団としては、この社会情勢のなかにおいても財団の設立目的である日本太鼓の普及・振興を今後とも図っていくため、支部・会員の皆様との協調、連携をとりながら事業運営に当たりたいと考えております。

結びに、2017年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」を開催

11月20日(日)愛知県名古屋市の「名古屋国際会議場センチュリーホール」において第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」が開催されました。国民文化祭は1986年に第1回目が東京で開催されて以降、全国持ち回りで開催しております。秋田県支部のご尽力により2014年に初めて主催団体として参画、今回で3回目の実施となります。

始めに地元の愛知県太鼓連盟合同チームの54名によるオープニング演奏が披露され、盛大な幕開けに会場のお客様から大きな拍手をいただきました。

開会式では愛知県大村秀章知事のご祝辞、主催者を代表して当財団塩見理事長が挨拶、全国16都府県及び台湾から31団体(出演者数370名)が出演し、全国各地の特色ある太鼓の技を披露しました。

当日は開演前から多くのお客様が並ばれるなど賑わいをみせ、盛況裡に終了いたしました。

<出演団体一覧> ☆当財団会員団体

出演順31団体(出演者数370名)

- ☆ 1. 愛知県太鼓連盟合同チーム(愛知)
- ☆ 2. 松平わ太鼓(愛知)
- ☆ 3. 童心・飛騨高山太鼓團(岐阜)
- ☆ 4. 信州上田真田陣太鼓保存会(長野)
- 5. 下野不動太鼓保存会(栃木)
- 6. 和太鼓いぶき(秋田)
- 7. 須成鼓笛保存会(愛知)
- 8. 鼓風(宮城)
- 9. 銭太鼓高杉会(広島)
- 10. 和太鼓パフォーマンス集団SERO(愛知)
- 11. 岩美龍神太鼓(鳥取)
- ☆ 12. 関西福祉大学金光藤蔭高校和太鼓部"鼓響"(大阪)
- ☆ 13. 大治太鼓保存会(愛知)
- 14. 仰願寺幼稚園浅草わんぱく太鼓(東京)
- ☆ 15. 海東流神楽太鼓(愛知)
- ☆ 16. 藤枝太鼓(静岡)
- 17. 北総警荒鷲太鼓(栃木)
- 18. 広島文教女子大学附属高校和太鼓部「文教太鼓葵」(広島)
- 19. 逢鷲太鼓連(鳥取)
- 20. 天くう(愛知)
- ☆ 21. 鼓國雷響JAPAN(岐阜)
- 22. 台湾太鼓協会合同チーム(台湾)
- ☆ 23. 高野右吉と秩父社中(埼玉)
- ☆ 24. やまと獅子太鼓(奈良)
- ☆ 25. 倉敷天領太鼓(岡山)
- ☆ 26. 尾張新次郎太鼓保存会(愛知)
- ☆ 27. 蘭導(秋田)
- ☆ 28. 御諏訪太鼓保存会(長野)
- ☆ 29. 手取亢龍太鼓保存会(石川)
- ☆ 30. 大江戸助六太鼓(東京)
- ☆ 31. 豊の国ゆふいん源流太鼓(大分)



(松平わ太鼓・愛知)



(関西福祉大学金光藤蔭高等学校和太鼓部"鼓響"・大阪)



(海東流神楽太鼓・愛知)



(藤枝太鼓・静岡)



(鼓國雷響 J A P A N・岐阜)



(台湾太鼓協会合同チーム・台湾)



(フィナーレ)

第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」を終えて

愛知県支部 支部長 芝川 征夫

第31回国民文化祭・あいち2016「太鼓の祭典」は、11月20日(日)名古屋国際会議場センチュリーホールで開催されました。オープニングは、愛知県太鼓連盟合同チームが務め、第1部、第2部、第3部と、公募団体も含め県外から23団体、県内からは7団体が出演し、台湾太鼓協会合同チームも参加し、大いに盛り上げて頂きました。

前日19日(土)のリハーサルにおいても、出演団体数が多く、本番の舞台進行がうまくいくかどうか心配しましたが、さすが出演者の皆さん手慣れたもので、本番は、余裕を持って進行することができました。

会場は、3,000名収容の大ホールでしたので、3階席は出演者用として使用しました。これだけの観客席を埋められるか、苦心しましたが、多くのお客様にご来場頂くことができました。国民文化祭の中でも「太鼓の祭典」は、大事業と位置づけられ、県内数10ヶ所に、事前にチラシ・ポスター等を配布し、3月から繁華街での「プレイベント」、10月には空港での「ウェルカムイベント」と積極的に地元でPRできたことが良かったと思います。

国際会議場内なので会場の外では、音が出せないため、ワークショップとして、舞台の花道で開場から開会までの間、大太鼓の体験コーナーを開設し、また、昼休みにはステージを使って、神楽太鼓の解説をしました。

私たち愛知県支部としては、遠くからはるばるお越し頂いた出演者の皆さんや関係者・スタッフの方々に、愛知県へ来て良かったと思って頂けますよう、心を一つにして、準備を進めてきました。

地の利を生かし、今後とも財団事業には、積極的に参加させて頂きますので、よろしくお願ひします。今大会では大和郡山市の職員の方にもお越しいただきました。来年の奈良県大和郡山市で開催する第32回国民文化祭・なら2017「太鼓の祭典」が益々すばらしい太鼓の祭典になることを祈念いたします。



(愛知県太鼓連盟合同チーム)

熊本地震支援金報告

皆様からいただいた熊本地震の支援金は、総額6,859,875円です。全額を昨年6月の理事会、7月の代議員会、12月の全九州・日本太鼓ジュニアコンクールにて、皆様を代表して全九州太鼓連合に贈呈いたしました。全九州太鼓連合からお礼の言葉をいただきましたので、掲載いたします。

このたびの熊本・大分地震に際しまして、ご丁寧なるご支援を賜り深く感謝申し上げます。お受けいたしました支援金につきましては、昨年6月30日に熊本県支部、大分県支部の方々にお届けいたしております。

また、頂いた支援金で桶胴太鼓24鼓、締め太鼓5鼓を購入し、9月30日をもって引渡しも終了いたしました。残りの支援金は復興公演等に役立てて参ります。

全九州太鼓連合といたしましては、熊本・大分各支部が皆様の温かい励ましに応え、安全に暮らし、働き、大好きな和太鼓をすることができる環境づくりを目指し、被災した会員の応援に全力で取り組んでまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、この度のご厚情に対しまして、改めてお礼申し上げますと共に、報告といたします。

全九州太鼓連合 名誉会長 長谷川 義



(贈呈式の様子)

第13回日本太鼓シニアコンクールを開催 ～文部科学大臣賞を目指して全国より36組137名が参加～

12月4日(日)石川県七尾市「七尾サンライフプラザ」において第13回日本太鼓シニアコンクールが開催されました。この大会は、60歳以上のシニア層を対象として近年に多い、激しく速い太鼓とは違う味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指して実施しているものです。第3回目より文部科学大臣賞が下付されております。

13回目を迎えた今回は15都県から36組137名が参加して開催されました。今大会で栄えある名人位となり文部科学大臣賞を手にしたのは佐賀県から参加の野方嘉孝氏(大和太鼓保存会・63歳)でした。

ベテランの技に観客は魅了されていました。

<結果>(敬称略)

名人位

野方 嘉孝 (佐賀・大和太鼓保存会)

準名人

松本 敏春 (石川・加賀の太鼓「無限」)

和田 光則 (静岡・金谷大井川川越し太鼓)

標葉せんだん太鼓保存会 (福島)

特別賞

岩城 正治 (石川・加賀太鼓保存会)

大塚 淳一 (東京・邦楽アカデミー和太鼓大元組)

村田 謙二 (石川・加賀太鼓「無限」)

黒土 勇 (福岡・久山榊太鼓 響生会)

飛龍源一郎 (埼玉・飛龍太鼓)

山田 誠一 (福井・坂井市無形民俗文化財

火の太鼓保存会)

西川 清昭 (富山・氷見有磯太鼓保存会)

小幡 潔 (東京・荏原流れ太鼓ひびき会)

内藤 昭和 (福井・越前味真野いずみ曲友会)

岡山 春雄 (石川・鹿島天平太鼓保存会)

河合 光夫 (岐阜・越前のら打ち衆鼓友会)

長野県太鼓連盟 (長野)



(開会式の様子)

*野方名人から寄稿して頂きましたのでご紹介いたします。

名人位をいただいて

大和太鼓保存会 野方 嘉孝

キャリアもネームバリューも申し分ないそうそうたるメンバーの中に混じり、日本太鼓シニアコンクールというすばらしい時を過ごさせていただきました。運良く名人位をいただくことができ本当に有難く思います。何の取り柄もない私が日本太鼓に出会い、自分の為だけを考えてたらここまでこれなかったと思います。

指導者として教える子供達の為にと、(公財)日本太鼓財団主催の講習会に参加し、我慢と努力で頑張りました。その結果が今に至り、最終的には一番自分の為になりました。人様のお陰だと痛感しております。

私の愛する師匠より、太鼓の名人位がとれたら、人としての名人位をめざせ！と言葉を頂きました。実に有難い！代々の名人位の方々を汚すことのないよう、今後もより一層の精進をしていきたいと思えます。又、名人位をいただいて、益々自分の未熟さに恐怖を覚えます。後についてくる後輩、子供達の為に少しでも参考になる生き方をしたいと思えます。人様の為になればと願っております。

人生遅まきながら、こんな気持ちになれたのも、日本の伝統文化の一つ日本太鼓に出会えたからだと思心から感謝しております。(公財)日本太鼓財団に関わる全ての方、ありがとうございました。



(野方嘉孝名人の演奏)

審査委員

(敬称略)

塩見 和子(審査委員長・財団理事長)

江頭 啓輔(三菱ふそうトラック・バス(株)特別顧問)

福光松太郎(株福光屋代表取締役社長)

大場 吉美(金沢学院大学教授)

長谷川 義(財団副会長・全九州太鼓連合名誉会長)

高野 右吉(財団副会長・高野右吉と秩父社中代表)



(準名人 松本 敏春・石川)



(準名人 和田 光則・静岡)



(準名人 標葉せんだん太鼓保存会・福島)

創エネ・あかりパークにて太鼓演奏協力

11月4日(金)当財団理事で世界的な照明デザイナーの石井幹子氏がプロデュースされた「創エネ・あかりパーク2016」(東京・上野恩賜公園)が開催され、2013年より毎年協力要請を受けて太鼓団体を派遣しイベントに協力しております。会場では最新の光技術を組み合わせた、様々な美しい明りが灯され、周囲のテントでは「あかり」に関する体験が行われていました。4回目となる今回は、「邦楽アカデミー和太鼓大元組」(東京)、「高野右吉と秩父社中」(埼玉)、「上州あずま太鼓会」(群馬)、「太鼓集団鼓粋」(神奈川)がそれぞれ得意曲を演奏すると、その迫りに約500名のお客様がステージに集まり、熱心に見入っていました。

(写真提供:三好英輔)



(邦楽アカデミー和太鼓大元組・東京)



(高野右吉と秩父社中・埼玉)



(上州あずま太鼓会・群馬)



(太鼓集団鼓粋・神奈川)

＜第71回日本太鼓支部講習会(道東)＞

10月15・16日(土日)北海道道東支部主催による支部講習会が北海道釧路市の「幣舞ふれあいホール」で行われました。北海道を中心に、27名が参加しました。開会式では貝塚支部長と当財団大澤常務理事から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。一足早い冬の訪れの中、受講生たちは一生懸命講習に励んでいました。

- 基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
- 4級基本講座 今池 薫
- 5級基本講座 橋本 光司

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 4級検定 7名受験 7名合格・認定
- 5級検定 18名受験 18名合格・認定



(5級基本講座)

＜第72回日本太鼓支部講習会(道北)＞

10月29・30日(土日)北海道道北支部主催による支部講習会が北海道稚内市の「稚内少年自然の家」で行われました。地元稚内市を中心に、32名が参加しました。開会式では安田支部長と当財団大澤常務理事から歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。日本の最北端で雪の舞う中、受講生たちは合格を目指し受講されていました。

○5級基本講座・総合指導 古屋 邦夫

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 27名受験 27名合格・認定



(5級基本講座)

第7回台湾太鼓ジュニアコンクール・第9回台湾太鼓フェスティバルが開催

10月9日(日)台湾で第7回台湾太鼓ジュニアコンクールと第9回台湾太鼓フェスティバルが、苗栗縣の苗北藝文中心にて開催され、当財団より塩見理事長、審査委員として長谷川副会長が出席しました。

完全入替制で行われ、両公演とも満員となり、あわせて2,000名を越える観客の前で開催されました。

審査結果上位は以下の通りです。

＜結果＞ 優勝: 葫蘆墩Smile太鼓團(台中市)

準優勝: 勁太鼓(屏東市)

第3位: 泰山太鼓團澄組(新北市)

特別賞 日本太鼓財団賞: 玄門太鼓團(台中市)

審査の結果、葫蘆墩(ふるとん) Smile太鼓團が3度目の優勝を果たし、今年3月に開催するジュニアコンクールへの出場が決まりました。



(葫蘆墩Smile太鼓團)

第5回東北太鼓ジュニアコンクールが開催

東北太鼓連合の主催による第5回東北太鼓ジュニアコンクールが、山形県酒田市の「酒田市民会館希望ホール」にて、東北6県より22団体が参加して行われ、約700名の観客を集め盛況裡に終了いたしました。

審査結果は以下の通りです。

＜結果＞ 優勝: 岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)

準優勝: 松川一の宮太鼓はな組(岩手)

第3位: やまばと太鼓(秋田)

第4位: 福島県立相馬高等学校相馬太鼓部(福島)

第5位: 岩手県立大船渡東高等学校太鼓部(岩手)

特別賞 日本太鼓財団賞: 高倉薬太鼓(宮城)

浅野太鼓楽器店賞: あそびっ鼓組「遊」(青森)

諏訪響太鼓店賞: 松明太鼓小若組嵐(福島)

鈴木太鼓店賞: 酒田北前太鼓振興会ジュニア(山形)

規程により地区コンクールに関する基準を満たした団体の中から最上位の団体が全国出場権を得ますが、今回は優勝の「岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組」が海外に渡航するため、準優勝の「松川一の宮太鼓はな組」の出場が認められることとなりました。

松川一の宮太鼓から全国大会への意気込みをご寄稿いただきました。



(岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組・福島)

日本太鼓ジュニアコンクールへの出場が決定して

松川一の宮太鼓 会長 遠藤 一子

山形県酒田市において開催した第5回東北太鼓ジュニアコンクールにおいて、地区コンクールの基準を満たした初めてのチームとして、第19回日本太鼓ジュニアコンクールに出場することになりました。こんな機会が得られるとは夢にも思っていなかったため、この機会を好機と捉え太鼓の技を磨き、さらに努力を重ねて、大きく成長したいと思っています。

第11回全九州・日本太鼓ジュニアコンクールが開催

「第11回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール」が12月18日(日)に福岡県飯塚市において開催され、「和太鼓たぎり」(福岡)が優勝しました。また、規定により地区コンクールに関する基準を満たした「三代目源流少年隊」(大分)の全国大会出場が決定しました。詳細は次号お知らせいたします。

ジュニアコンクール出場団体決定！

名称：第19回日本太鼓ジュニアコンクール(内閣総理大臣賞・総務大臣賞・文部科学大臣賞下付予定)

期日：2017年3月19日(日) 開場9:30 開演10:00 閉会式終了予定19:00

会場：神戸国際会館こくさいホール(兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6) TEL 078-231-8161

入場料：前売券2,000円 当日券2,500円

(チケットぴあにて2月1日より販売開始！ TEL 0570-02-9999 Pコード317-748)

***今回もインターネットにより生中継いたします！ 遠方で会場にお越しになれない方は、
当財団ホームページよりご覧頂けます。 <http://www.nippon-taiko.or.jp>**

出場団体：56チーム【国内54チーム(37都道府県)、ブラジル、台湾代表チーム】(予定)

予選実施：41支部457チーム4,695名、支部推薦1チーム(海外の予選含む)

道東：北海道くしろ蝦夷太鼓ジュニア

道央：山口太鼓流北海若衆太鼓

道西：太鼓衆多仲や一門

道南：橋本流みゆき太鼓

道北：神楽岡太鼓子龍

青森：あそびっ鼓組“遊”

岩手：奥州水沢颯人和太鼓乃会 Jr

宮城：高倉薬太鼓

秋田：やまばと太鼓

山形：念珠関辨天太鼓子供会

福島：田島太鼓龍巳会白鼓

栃木：岩舟武蔵太鼓ジュニア

群馬：上州あずま太鼓会

埼玉：川越ふじ太鼓

千葉：TAKERUの会真

東京：東京都立美原高等学校和太鼓部

：東京都立白鷗高等学校和太鼓部

神奈川：打鼓音ジュニア

静岡：天城連峰太鼓

：富岳太鼓風神組

富山：越中いさみ太鼓保存会春蘭

石川：輪島・和太鼓虎之介

：九谷太鼓若獅子組

福井：ハッ杉太鼓遊心

山梨：山梨県立笛吹高等学校すいれき太鼓部

長野：信州上田真田陣太鼓保存会真田大助隊

岐阜：各務原太鼓保存会

愛知：特定非営利活動法人転輪太鼓

三重：青山高等学校和太鼓部“葵”

奈良：奈良県立奈良朱雀高等学校和太鼓部和太鼓秋篠

京都：大和の響き・京

大阪：山城ノ國和太鼓鼓粹

兵庫：養父太鼓鼓彩

：別所ともえ太鼓会ジュニアチーム

：豊岡こうのとりの太鼓

岡山：児島瑜伽太鼓

広島：宇品みなと太鼓

島根：掛合太鼓ジュニア

香川：和太鼓集団夢幻の会

福岡：和太鼓たぎり

：神洲八幡巫太鼓

佐賀：大和太鼓保存会鼓天童子

：風天太鼓保存会

長崎：諫早天満太鼓

熊本：荒尾太鼓

：熊本市立必由館高等学校和太鼓部

：人吉ねぶか太鼓

大分：ZENKAI太鼓「和」

宮崎：橘太鼓響座「一」

：日向の国「響」

：太鼓研修センター「響」

鹿児島：火の神乙女太鼓爽

東北：松川一の宮太鼓はな組(岩手)

全九州：三代目源流少年隊(大分)

ブラジル：源流太鼓

台湾：葫蘆墩Smile太鼓團

特別出演：手取亢龍若鮎組(石川・第18回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)

アカスソ太鼓(アルゼンチン)

*大会規定により、支部予選で21チーム以上の参加があった場合は2チーム、31チーム以上の場合は3チームが出場できます。これにより、熊本・宮崎から3チーム、東京・静岡・石川・福岡・佐賀の各支部から2チーム、大会開催地の兵庫県支部からは3チームが参加します。また、今回地区大会の結果により、東北太鼓ジュニアコンクールから「松川一の宮太鼓はな組」(岩手)が、全九州・日本太鼓ジュニアコンクールから「三代目源流少年隊」(大分)の全国コンクールの出場が認められました。

なお、今回不参加の支部は茨城・新潟・徳島・沖縄の4支部です。

事務局だより

2017年度事業予定

正式には、3月の当財団の理事会、評議員会を経て決定いたしますが、取り急ぎ新年度の予定をお知らせします。
*各種事業のお問合せは財団事務局まで！ホームページでも情報を随時更新しています。

公益財団法人日本太鼓財団 〒107-0052港区赤坂1-2-2 TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580
メール info@nippon-taiko.or.jp ホームページ <http://www.nippon-taiko.or.jp>

- 第21回日本太鼓チャリティコンサート
期日:2017年5月16日(火)
場所:草月ホール(東京都港区)
- 創立20周年記念第21回日本太鼓全国フェスティバル
期日:2017年9月21日(木)
場所:国立劇場大劇場(東京都千代田区)
- 第19回日本太鼓全国障害者大会
期日:2017年10月1日(日)
場所:御殿場市民会館(静岡県御殿場市)
- 第2回大学太鼓フェスティバル
期日:2017年8月31日(木)
場所:文京シビックホール(東京都文京区)
- 第14回日本太鼓シニアコンクール
期日:2017年11月19日(日)
場所:津幡町文化会館「シグナス」(石川県津幡町)
- 第20回日本太鼓ジュニアコンクール
期日:2018年3月25日(日)
場所:金沢歌劇座(石川県金沢市)
- 創立20周年記念日本太鼓フェスティバル
期日:2017年10月-11月の1日間
場所:隅田公園山谷堀広場(東京都台東区)
- 第32回国民文化祭・なら2017「太鼓の祭典」
期日:2017年10月15日(日)
場所:大和郡山城ホール(奈良県大和郡山市)
- 第59回日本太鼓全国講習会
期日:2017年6月24・25日(土日)
場所:片平公民館(福島県郡山市)
- 第60回日本太鼓全国講習会
期日:2017年9月16・17日(土日)
場所:箕輪町文化センター(長野県箕輪町)
- 第61回日本太鼓全国講習会
期日:2018年2月17・18日(土日)
場所:未定(宮崎県宮崎市)
- 日本太鼓支部講習会
開催予定:北海道道西、北海道道北ほか
*開催希望の支部は財団事務局にお問合せ願います。
- 海外指導者派遣
台湾太鼓講習会(台湾太鼓協会)7月
ブラジル太鼓講習会(ブラジル太鼓協会)1月
アルゼンチン太鼓指導(アルゼンチン太鼓協会)

第74回日本太鼓支部講習会(東京都港区)

期日:2017年2月4日・5日(土日)
会場:日本財団ビル 東京都港区赤坂1-2-2
主催:日本太鼓財団東京都支部
総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)
基本講座 3級基本講座 松枝 明美
4級基本講座 三浦 一浩
5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一

お問合せ・申込先:日本太鼓財団東京都支部
〒144-0052東京都大田区蒲田5-46-8
担当:事務局長 湯澤 元一
TEL 090-1996-2582 FAX 03-3730-3428
締切:2017年1月16日(月) 当日到着分まで有効

第58回日本太鼓全国講習会(福岡県久山町)

期日:2017年2月11日・12日(土日)
会場:レスポアール久山 福岡県糟屋郡久山町久原2603-1
主催:(公財)日本太鼓財団 主管:全九州太鼓連合、日本太鼓財団福岡県支部
総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)
基本講座 3級基本講座 安江 信寿 御諏訪太鼓講座(複式単打法) 松枝 明美(長野)
4級基本講座 若山 雷門 助六太鼓講座(単式複打法) 今泉 豊(東京)
5級基本講座(初心者講座) 田中 俊己 源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義(大分)
講話 浅野 昭利(一般財団法人浅野太鼓文化研究所理事長)
申込先:(公財)日本太鼓財団 お問合せ:日本太鼓財団福岡県支部
〒107-0052東京都港区赤坂1-2-2 担当:事務局長 田中 茂雄 TEL 090-2395-2394
TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580 締切:2017年1月25日(水) 当日到着分まで有効

第32回国民文化祭・なら2017「太鼓の祭典」出演者募集中!

2017年10月15日(日)に「大和郡山城ホール」にて開催する第32回国民文化祭・なら2017「太鼓の祭典」の出演者を募集中です。応募締切は2017年1月31日(火)です。詳細は当財団事務局までご連絡または、ホームページをご覧ください。皆さまのご応募お待ちしております。